

國學院大學學術情報リポジトリ

戦国期における神社の動向：九州地方を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 永田, 忠靖, Nagata, Tadayasu メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00002477

戦国期における神社の動向―九州地方を中心に―

永田 忠靖

はじめに (1)

第一章 大友義鎮の社寺破却とその意図について (5)

はじめに (5)

- 一、義鎮による宇佐八幡宮の破却・永禄期 (6)
 - 二、社奉行奈多鑑基・鎮基父子による宇佐宮への押妨 (10)
 - 三、宗麟による宇佐宮の破却・天正期 (15)
 - 四、太宰府天満宮の破却 (17)
 - 五、彦山の破却 (20)
 - 六、大友義鎮が社寺に求めたもの (23)
- おわりに (28)

第二章 戦国期における太宰府天満宮留守職について (33)

はじめに (33)

- 一、大鳥居氏と小鳥居氏の留守職をめぐる相論 (33)
 - 二、大友氏と大鳥居氏の関係 (38)
 - 三、留守職の政治的利用における天満宮の破却 (43)
 - 四、大鳥居氏と小鳥居氏による祈祷巻数 (47)
- おわりに (50)

第三章 戦国期における筑後国一宮高良社と周辺勢力との関係 (54)

はじめに (54)

- 一、高良社と大友氏の関係・天正六年以前を中心に (54)
 - 二、「耳川合戦」以降における高良社内部と周辺勢力の動向 (58)
 - 三、高良社の衰退と『高良記』について (63)
 - 四、宗教勢力の主体性について・高良社と太宰府天満宮との比較を通して (70)
- おわりに (74)

第四章 中世後期における豊前一宮宇佐宮の動向・大内氏を中心に (86)

はじめに (86)

- 一、中世前期の宇佐宮の状況 (87)
 - 二、大内氏による宇佐宮への関わり (90)
 - 三、応永期の宇佐宮再興から見えること (94)
 - 四、戦国期における宇佐宮の造営祭礼の継承 (96)
 - 五、応仁の乱がもたらす宇佐宮の「主体性」 (102)
 - 六、宇佐宮と大内氏の齟齬の発生 (106)
- おわりに (112)

第五章 出雲地方の社寺をめぐる尼子氏と毛利氏の動向 (123)

はじめに (123)

- 一、杵築大社と日御碕社の境界論争による尼子氏の台頭 (125)
 - 二、尼子氏と杵築大社 (130)
 - 三、尼子氏と鰐淵寺 (135)
 - 四、毛利氏と杵築大社 (137)
- おわりに (142)

第六章 戦国期における宗像大宮司の動向 (146)

はじめに (146)

- 一、鎌倉期に起きる大宮司の持つ社務職の分割 (147)
 - 二、大宮司職掌分割の意義 (150)
 - 三、応仁の乱以後の大宮司家の混乱 (155)
 - 四、大宮司家の分裂と相続争い (157)
 - 五、大内氏による大宮司職分割相続と統合 (161)
 - 六、氏貞の大宮司継承 (164)
 - 七、大友氏と毛利氏に対する氏貞の動向 (169)
 - 八、大宮司氏貞の社役としての動向 (177)
- おわりに (181)

おわりに (190)

補論 中世後期における諸国一宮の現状と近世への変遷 (194)

はじめに

- 一、社殿に関して
 - 二、社領に関して
 - 三、祭祀職の被官化及び領主化
 - 四、祭祀に関して
 - 五、地域論に関して
- おわりに

- (附一) 中世後期～近世における一宮の動向
- (附二) 中世後期～近世における年中行事書及び神事記
- (附三) 中世後期～近世における造営・修復